令 和 ８ 年 ９ 月 ４ 日

6年生保護者 様

加古川市立別府西小学校
校 長　　田 村　千 恵
6年生　担 任 一 同

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度、4月23日に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生を対象に「国語」「算数」の学習状況と児童の学校や家庭での生活実態についての調査が行われました。

今回の結果を基に、別府西っ子の学力の現状を分析してまとめましたので，その概要を保護者の皆さまにお知らせいたします。

＜国語・算数に関して＞

【指導の成果が表れている点】

国語 「思考力・表現力・判断力」の読むことに関する平均正答率が全国や兵庫県を上回っています。特に、選択式よりも**記述式【言葉や文章にして答える問題】に対する正答率が高くなっていました。**最後まで諦めずに問題に取り組もうとする高い意欲が窺えます。物語の文章を読んで「内容が確認できたら終わり」ではなく、それについて「自分はどう思うのか」や「なぜそう考えたのか」など、授業の中で自分たちの意見を出し合い共に理解を深めていく学習を通して、自ら学ぶ姿勢や粘り強さを身につけられています。

算数 「思考力・表現力・判断力」の問題に対する平均正答率が全国や兵庫県を上回っています。また、国語科と同様に選択式よりも**記述式【言葉や文章にして答える問題】に対する正答率が高くなっていました。**算数科の学習においても、「答えを求めて終わり」にするのではなく、それについて「その数で間違いないのか」や「説明するときに聞き手により伝わりやすくするためにはどうすればよいか」と問い、答えを見つけるまでの過程やそれを説明する学習を通して、算数科における論理的思考力や他者に伝える表現力を身につけられています。



【指導の工夫が必要だと考えられる点】

国語 「知識及び技能」のうち情報の扱い方に関する平均正答率が全国や兵庫県を下回っています。特に「情報同士を結びつけること」や「言葉の関係を図にして整理すること」に苦手意識が見られます。文章を読んだり図を見たりしながら、両方を上手に行き来して内容を理解する力が、まだ十分に身についていないと考えられます。

そこで今後は、文章を図に表したり、図を文章に読み替えたりする指導を取り入れます。まずは短文から始めたり、図の一部を穴埋めにしたりするなど、段階を追ったスモールステップの学習で理解を深めていきます。

算数 「知識及び技能」の「情報の扱い」に関する平均正答率が、全国や兵庫県を下回っています。特に、「割合」や「百分率」「比」などを使い、2つの量の関係を抽象的・数学的に捉える問題に課題が見られました。

そこで今後は、図を活用したり、日常の具体的な場面に置き換えたりした問題を取り入れます。難しい内容も頭の中でイメージできるよう、身近な例に当てはめて考えられるよう指導していきます。

＜学校生活・家庭学習に関して＞ ※児童質問用紙の回答結果から

【指導の成果が表れている点】

○自己肯定感や自己有用感の育成

「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童は90.4%、「先生は自分の良いところを認めてくれる」と回答した児童は97.6%で、どちらも全国や兵庫県の割合を上回っています。また、「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童も89.2%と高い割合となっていました。学校や家庭において、周囲から認められることで自分の居場所を感じ、目標に向かって進むことができていると考えられます。

○学習意欲や主体性の高まり

「国語、算数、英語の授業は好きです」と回答した児童は70%以上で、どの教科も全国や兵庫県の割合よりも10%以上も上回っています。今回の学力テストの問題に対しても「全ての問題で解答を書こうと努力した」と回答した児童が、国語では90.6%、算数では85.9%でこれも全国や兵庫県の割合よりも5%以上も上回っていました。学びに対する意欲と粘り強く取り組む姿勢の高さが表れています。

○道徳性や倫理観の醸成

「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童は66.3%、「いじめはどんな理由であってもいけないことだと思う」と回答した児童は94%で、どちらも全国や兵庫県の割合を10%以上、上回っています。日常生活の中で、互いを助け合う人間関係が構築されているとともに、いじめは何があってもいけないといった価値観が根付いており、学年全体でいじめを許さないといった人権尊重の風土が醸成されています。

【指導の工夫が必要だと考えられる点】

○読書の時間、学習時間の確保について

「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という問いに10分以上と回答している児童が32.5%で、全国や兵庫県より10%以上、下回っています。読書は、集中力や論理的思考力の強化、語彙力や表現力の向上に効果的であり、その他にも多様な好影響があるといわれています。今後、読書の習慣を児童が身に付けられるような指導に取り組んでまいります。また、「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間勉強しているか」について「平日」73.4%、「休日」30.1%の児童が1時間以上と回答しており、どちらも全国や兵庫県の割合より5%以上、下回っていました。中学校進学に向け、学校でも家庭学習の大切さについて知らせていきたいと思います。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。



国語・算数ともに学習に対する高い意欲や、学習した知識や技能をもとに自分の考えを記述して表現する力が育ってきている傾向が明らかになりました。一方で、学習の基盤となる基礎的学力の定着に課題があることも見受けられました。

今後も朝学習や授業の取り組み方を工夫し、児童の学習意欲の持続や基礎学力の定着を図っていきます。引き続き、別府西小学校の教育活動に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。